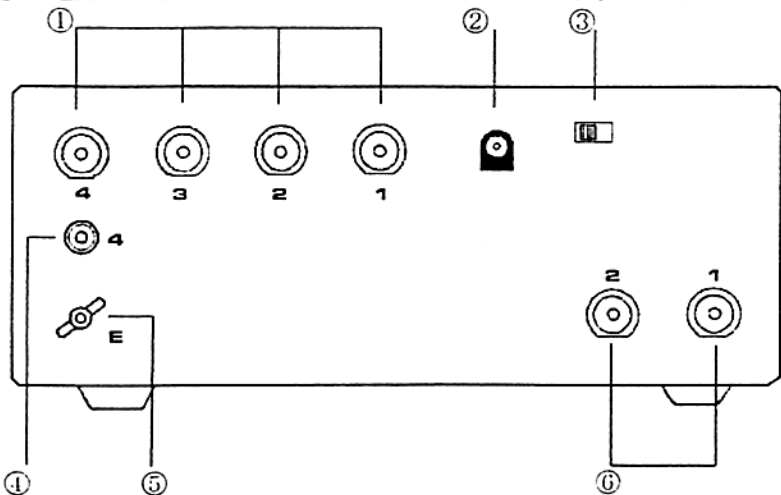


TUNER-PASS : チューナ部を通過して、直接アンテナへ送信電力を送り出します

- ⑨ アンテナ・セレクタ : 4系統のアンテナを切り替えて使用するスイッチです
- ⑩ バンド・スイッチ : チューナの動作バンド (運用周波数) を切り替えるスイッチです

### 本体後部

- ① 出力コネクタ : 4系統のアンテナが接続できます
- ② DC 12V 端子 : メータ照明、電力切替LED用のDC入力端子です
- ③ 電源スイッチ : DC 12VのON/OFFスイッチです



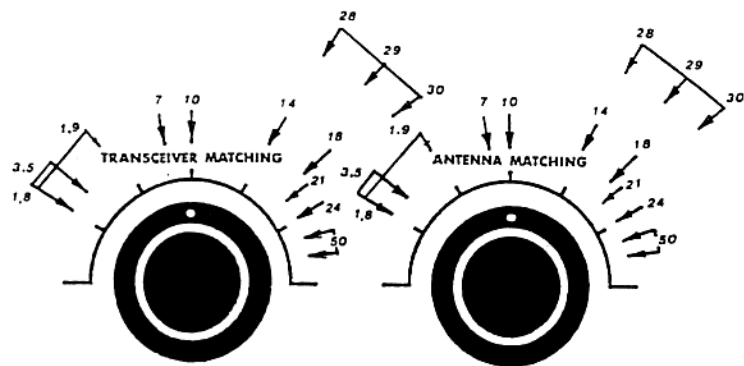
- ④ ワイヤアンテナ端子 : 移動運用などでワイヤアンテナを使用するときは、この端子に接続します
- ⑤ アース端子 : 接地用端子です。特にワイヤアンテナを使用するときには、必ず接地してください。
- ⑥ 入力コネクタ : 2系統の送信機を接続できます

### 基本的な使用方法 (入力2回路/出力4回路)

NT-636は、アンテナと送信機の間接続して相互のマッチング (整合) を取るアンテナチューナです。アンテナが、およそ50Ωに設計されたものを使用する場合は、次のように調整します。

#### [準備作業]

- 送信する周波数に、バンドスイッチ (前面パネル⑩) を合わせる。
- 送信する周波数に応じて、マッチング・ツマミ (前面パネル③、④) をおよその位置 (基準調整点) に合わせておく。



- 電力計のレンジ (前面パネル⑥) を送信電力に合わせて、切り替えておく。
- CALツマミ (前面パネル⑦) は、押し込んだまま最小 (左側いっぱい) に合わせる。
- チューナ・スイッチ (前面パネル⑧) は、TUNER-PASSに合わせる。
- アンテナ・セレクタ (前面パネル⑨) は、使用するアンテナが接続されている番号に合わせる。
- 入力セレクタ (前面パネル⑤) は、使用する送信機が接続されている番号に合わせる。

以上の準備ができてから、調整作業を開始します。